

こめま 小沼さゆりプロフィール

1987年9月21日戸田生まれ
公務員の父とピアノ講師の母の間に生まれる。

はごろも幼稚園卒園
3歳からピアノを習いはじめる。

戸田東小学校卒業
小児喘息を克服するため
吹奏楽に打ち込みました。

東邦音楽大学附属
東邦中学校・高等学校卒業
中学はピアノに専念、高校時代にサクソに出会い
みんなと演奏する楽しさを学びました。

東邦音楽大学(ピアノ専攻)卒業
大学2年生の時にオーストリアのウイーンに
留学。音楽が深く根付いたまちを体感し、文化的
豊かさともちの活力に強い感銘を受けました。

音楽教室を母と共同経営
上戸田にて「ファミリー音楽
教室」を経営。主にピアノや
サクソ等の講師として
たくさん生徒さんたちを
指導しています。

母娘ユニット「SAYミュージズ」で
福祉施設での慰問演奏

イベントの主催や
福祉施設での演奏など
様々な市民活動に
取り組んでいます。

生まれ育ったまち、
戸田市が大好きです!

ゆめまつりのステージで
プレゼンターとして

- 所属:戸田市民演奏家協会会員、上戸田商店会会員
戸田市商工会青年部員
- 趣味:映画鑑賞、喫茶店巡り
- 特技:絶対音感
- 好きな言葉:みんなちがって、みんないい
- 好きな食べ物:プリン、みかん

討議資料

小沼さゆりさんを応援しています!

小沼さんは、明るく親しみやすい人柄で、誰に
対しても分け隔てなく優しく接することがで
きる方です。音楽指導の傍ら15年間継続して
きた慰問活動は、彼女の人への思いやりと芯
の強さを表しています。

商店会でも若い力と行動力で熱心に汗をかき、
決して笑顔を忘れない。そんな小沼さんだか
らこそ、地域の声を真摯に受け止め、寄り添い、
課題を解決することができると思います。また、
音楽の専門家として芸術による街の魅力向上
や教育の充実などの政策推進にも期待が
高まります。

期待の新人、小沼さゆり
さんに皆様のお力添えを
賜りますようお願いいた
します。



戸田市長 すがわら 文仁

小沼さゆりさんは穏やかで優しく、内に熱い
情熱を秘めた方です。地元生まれの地元育ち、
音大卒業後は市内で音楽教室を共同経営さ
れ、地元商店会や商工会、市内音楽活動等、
長年戸田市を音楽の力で盛り上げてくださ
いました。音楽は、人と人とを笑顔でつなげ、困難
を乗り越え、未来へ向かう活力を生み出します。
小沼さんが掲げる音楽のまちづくりが戸田市
の未来に新しい価値をもたらすことを期待して
います。

小沼さゆりさんの市政へ
のチャレンジに、皆様
のお力添えを賜りますよう、
心からお願い申し上げます。



埼玉県議会議員 こんの 桃子

連絡先 〒335-0022 埼玉県戸田市上戸田1-2-19

TEL 080-6903-5343

メール info@konumasayuri.com

ホームページ

https://konumasayuri.com/



無所属
新人

戸田生まれ・戸田育ち

響け!未来の ハーモナイズシティ戸田



はじめまして! 小沼さゆりと申します

戸田市役所で働く父と、市内で音楽教室を営む母のもとに生まれ、幼い頃から音楽に打ち込んできました。これまでの経験を活かし、戸田市を文化や芸術で豊かにし、誰も取り残されない、優しく抱擁力のあるまちづくりに取り組んでまいります。一生懸命頑張りますので、叱咤激励を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

小沼 さゆり

第1章 教育・子育てNo.1のファミリーシティへ

私は、音楽指導を通じて子どもたちの感性や可能性を伸ばすことを目指しています。「STEAM教育※」の中でも特に「Art(芸術やリベラルアーツ)」を強化し、子どもたちの創造性を育みます。また、妊娠から義務教育までを切れ目なくつなぎ、子育ての負担を軽減、誰一人取り残さない環境を実現します。

- 全校への最新機器導入と「STEAM教育※」の推進
- 学校給食費・幼児教育・保育料無償化の拡大
- 子どもの心理的サポートのためのSSW※増員
- 幼児教育や保育の質を向上する支援体制の強化
- 小学校の金管バンド復活と芸術に親しむ体験の提供



音楽講師として生徒を指導

※STEAM教育:理数教育に創造性教育を加えた非認知能力を育む教育理念
 ※SSW(スクールソーシャルワーカー):教育機関で福祉相談を受ける専門家

第2章 命と暮らしを守るレジリエンス※シティへ

台風等の激甚化に恐怖を感じる方も多いのではないのでしょうか。私は現在進行中の戸田市の治水事業を着実に進めながら、流域治水に基づく新たな水害対策を推進します。首都直下型地震(戸田市の予想震度「6弱以上」)に備え防災備蓄や福祉避難所を拡充する他、消防救急体制も強化します。

- 流域治水に基づく河川等の整備と新たな浸水対策
- 企業と連携した避難先の開拓・物資供給網の構築
- 福祉避難所の整備・増設と備蓄倉庫の拡充
- BCP※策定支援と市民の防災情報ステーションの整備
- 車中泊を含む防災訓練の実施とトイレカーの導入



北大通りの雨水貯留管にて

※レジリエンス:未知のショックを最小限に留め、状況に適応し再び発展できる能力
 ※BCP:危機的状況に備えて、事業を継続できる方策や手順を定めた事業継続計画

第3章 その人らしさを発揮するウェルビーイング※シティへ

私が留学したウィーン(世界の住みよ都市ランキング1位)は、芸術や文化活動に親しむ機会が豊富で、健康に働くための支援が手厚い街でした。戸田市を成熟した街に進化させるため、誰もが尊重され、健康に活躍し、芸術・文化活動に親しむ「幸福度」の高い暮らしを実現する環境をつくります。

- 人と活動を支える「文化・芸術支援基金」の創設
- 図書館などへの市民交流カフェスペースの設置
- いつでも芸術に触れられる美術館(アートミュージアム)の創設
- 健康リテラシー向上とフレイル※予防との推進
- 孤独・孤立を解消する「社会的処方」の推進



母娘ユニットとして市内で演奏

※ウェルビーイング:個人が尊重され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること
 ※フレイル:身体、精神、社会的な虚弱状態で健康な状態と要介護状態の中間を指す

第4章 次世代につなぐサステナブル※シティへ

私は、商店会活動や福祉施設での慰問演奏を通じて、戸田市をもっと元気にしたいと強く思うようになりました。小規模事業者や商店会支援の他、企業のGX※・DXなど成長分野への挑戦を後押しします。2050年ゼロカーボンシティの達成に取り組み、豊かな自然環境と持続可能な街を次世代につなぎます。

- トダペイの充実と小規模事業者の人材定着と確保
- CO₂削減補助拡充と公共施設の再生エネ化推進
- 女性・高齢者等の就業支援と働き方のDX化推進
- SDGs市民活動の支援とサステナブルビジネス賞創設
- 公共交通の充実と埼京線のホームドア設置推進



「ゆめまつり」の実行委員として

※サステナブル:将来にわたって持続可能な状態を保つこと
 ※GX:脱炭素社会を目指し、クリーンエネルギー中心の構造に転換する社会的改革